

CAREER STORY

キャリア ストーリー

Winter 2017-18

IGL 医療福祉専門学校
口腔保健学科

末永 由美 先生



●すえなが ゆみ
順正短期大学卒業
歯科衛生士歴 21年目

高校卒業後の進路を決めるときに歯科衛生士の仕事を知り、この道に。現在は子育てと仕事を両立し、休日は小学生の子どもと遊びに出かける。



続けるほどやりがいを感じる
それが私たち、歯科衛生士の仕事

何度も伝えるうちに
患者さんの心境が変化

歯科衛生士になって21年目。今でこそ天職だと確信していますが、学生時代は仕事のイメージがあまりできていませんでした。でも現場に出て数年もすると、とても楽しくなってきたやりがいを感じるようになります。歯科医院に11年勤務した後、出産・育児でのブランクを経て、予防中心の医院に再就職しました。現在では予防歯科は普及しつつありますが、そこではまだまだ治療だけを望む患者さんも多く、もどかしい思いをすることも。それでも予防の大切さを根気よく伝えていくうちに、最初はしぶしぶだった患者さんが「あのとき末永さんを信じてよかった」と言ってくれたり、途中で来なくなった患者さんが「やっぱりお願いしたい」と数年後に再来院したり。すぐに理解してもらえなくても、相手の気持ちに寄り添い、伝え続けることの大切さを実感しました。

大変さの先に
次のステージが待っている

教員になり、接する対象は患者さんから学生に変わりましたが、コミュニケーション面で共通しているところがあります。勉強の大変さに圧倒さ

れ「なんでこんなにやらないといけないのか」と悩む学生は少なくありません。そんなときには歯科衛生士の存在意義や仕事のやりがいを話し、夢を持ってもらうようにしています。「予防をすると健康な未来が待っている」と患者さんに伝えるのと似ていますね。今はピンと来なくても、現場に出てから「先生の言っていた意味がわかった」と気づいてもらえれば、教員冥利に尽きます。

勉強も仕事もすぐに結果が出るとは限りません。特に働き始めの1、2年目は迷い、悩むもの。私自身もその一人でした。そんな私も今では、歯科衛生士の仕事が心から大好きに。自分の可能性を信じて続けていけば、必ず次のステージに進めます！皆さんを応援しています。



Workplace

学校法人 IGL 学園
IGL 医療福祉専門学校 (広島市安佐南区)

他学科(介護福祉、鍼灸、柔整)の教員や学生とも交流が深く、医療・福祉の幅広い知見に触れることができる。人間力養成を掲げ、マナーやコミュニケーションの向上にも注力。